

本日の都市計画審議会でご審議いただく要点

■背景

- ・市内の優先整備路線2路線（東京都施行）は、必要性が確認された都市計画道路の中から、10年間（平成28年度から令和7年度）で優先的に整備すべき路線として選定された。
- ・選定を契機に、環境等への影響に関する懸念などが高まり、市民及び市議会から多数の意見がある一方で、防災性の確保等の必要性に関する意見も寄せられている。
- ・多数の意見がある中、市は中止・見直しの立場であり、その要望をするためには、根拠を明確にして説明することが求められるため、2路線の事業に係る必要性及び合理性について検証を行うこととなった。
- ・なお、事業主体は東京都であり、都市計画手続きをとるための検証ではない。

■ご審議の要点

- ・本日の審議会では、検証方法案を提示している。
- ・1次検証、2次検証、市民意向調査の進め方を説明し、合理性、妥当性、透明性等の観点から「検証の進め方」についてご質問・ご意見をいただきたい。
- ・市民意向調査の具体的な方法等は、今後検討を進めるため現時点では未定である。
- ・検証については、他自治体の事例や様々な調査結果も収集し進めていく予定である。

■（参考）建設環境委員会（8月20日）で頂いた主なご意見ご質問及び部局の答弁

※以下、「・」はご意見ご質問、「⇒」は部局の答弁を示す。

□1次検証（委託）について

- ・市が新たに独自に設けた評価項目は何か。
⇒「生活空間機能の確保」「生活道路の安全性の向上」「都市骨格形成」「街区形成機能」の4項目を追加した。
- ・2000人アンケートとは。実施する理由は。
⇒市施行の優先的に整備すべき路線の選定にあたり、市民の意向をより適切に反映するために実施する。また、アンケートは2つに分けて実施を検討している。「(市施行の優先的に整備すべき路線選定のための)優先性に関わる内容」と「評価項目の配点(重みづけ)」の2つである。
なお、「優先性に関わる内容」は別途検討する。また、「評価項目の配点(重みづけ)」に関わる内容については、別途市民を募集し実施する予定である。
- ・配点(重みづけ)に市議会議員が含まれていない理由は。
⇒議員については、市民と重複すると考えたためである。また、他自治体の事例では、議員は対象ではなかったためである。
- ・市民意向調査による客観性の確保のために、どのように補正するのか。
⇒評価項目に関わる内容は検討中である。市民の方々に分かりやすくするため、項目ごとにアンケートを取る手法や趣旨を説明し同様の設問で回答するなど考えている。また、補正についても、行政職の回答に対し、修正幅を決めて反映するなど検討している。

□ 2次検証について

- ・都市計画コンサルタント協会の専門家派遣制度を活用する目的は。
- ⇒専門家派遣制度を活用し、優先整備路線の検証・評価の手法について、専門家の知見を活用し、客観性、妥当性を高めたい。また、検証における市民参加や意向調査についても助言を頂きたい。
- ・評価の仕方について、聴取や調査を評価の参考にするとは。
- ⇒東京都の動植物調査などを参考にしたい。

□市民意向調査について

- ・調査対象者について、沿線、通り抜けとはどこを想定しているか。
- ⇒一定の範囲で一定数の方々に調査を行う。必要なサンプル数での実施を検討している。
- ・いつ、どこで、どのように行うのか。具体例を議会に提示すべき。
- ⇒9月の建設環境委員会で具体的に提示する。

□その他

- ・工程通り進めることができるのか。
- ⇒年内を目途に判断できるよう作業を進めてまいりたいと考えている。スケジュールを疎かにせず丁寧に検証を進めていきたい。